

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年 05月 13日

事務事業名	老人研修事業			担当	教育委員会 自然教育センター					
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-1277				
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業				
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	真岡市老人研修センターの設置、管理及び使用条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S60 年度～）				
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	9.自然教育センター費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
事業概要	高齢者の健康維持、教養の向上、及び生きがい対策として、市内老人クラブ会員を対象に研修を実施する。									

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																															
25年度実績 市内老人クラブを7地区21ブロックに分けて、年間各5回の計画に基づき研修を開催。合計105回計画し、105回実施。学区を同じくする児童・生徒とともに活動する「ふれあい活動」やスポーツ、レクリエーション、講話、DVD鑑賞、創作活動、施設見学等を行った。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア：年間研修回数</td> <td>回</td> <td>103</td> <td>105</td> <td>104</td> <td>105</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア：年間研修回数	回	103	105	104	105	105	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																										
ア：年間研修回数	回	103	105	104	105	105																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
26年度計画 7地区21ブロックで計105回を計画し、事業内容は25年度と同様。																																																
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然资源等	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																															
市内老人クラブ会員	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア：市内老人クラブ会員数</td> <td>人</td> <td>3426</td> <td>3261</td> <td>3141</td> <td>2892</td> <td>2759</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア：市内老人クラブ会員数	人	3426	3261	3141	2892	2759	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																										
ア：市内老人クラブ会員数	人	3426	3261	3141	2892	2759																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																															
高齢者の健康の維持・増進、教養の向上を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア：参加者数（延べ）</td> <td>人</td> <td>2387</td> <td>2413</td> <td>2477</td> <td>2435</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア：参加者数（延べ）	人	2387	2413	2477	2435	2400	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																										
ア：参加者数（延べ）	人	2387	2413	2477	2435	2400																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																															
高齢者が生きがいを持ち、自立と社会参加の推進を図る。 社会参加している高齢者数とは、シルバー人材センター会員数、老人クラブ会員数、老人趣味クラブ会員数、地域づくり事業ミニディ等参加者数及び65歳以上の民生委員等とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア：社会参加している高齢者数</td> <td>人</td> <td>5797</td> <td>5952</td> <td>6255</td> <td>6300</td> <td>6400</td> </tr> <tr> <td>イ：高齢者研修に参加し満足した割合</td> <td>%</td> <td>89.0</td> <td>90.2</td> <td>74.6</td> <td>88.7</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア：社会参加している高齢者数	人	5797	5952	6255	6300	6400	イ：高齢者研修に参加し満足した割合	%	89.0	90.2	74.6	88.7	90.0	ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																										
ア：社会参加している高齢者数	人	5797	5952	6255	6300	6400																																										
イ：高齢者研修に参加し満足した割合	%	89.0	90.2	74.6	88.7	90.0																																										
ウ																																																
エ																																																
オ																																																

(2) 総事業費の推移	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	662	657	732
		事業費計（A）	千円	662	657	716
人 件 費	正規職員従事人數	人	7	7	7	0
	延べ業務時間	時間	1,133	1,260	1,248	1,260
	人件費計（B）	千円	4,836	5,345	5,244	5,121
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,498	6,002	5,976	5,837

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和60年に老人研修センターが開設され、事業が開始された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	人口の高齢化が進む中、高齢者の健康づくりや生きがい対策は益々重要になっている。対象である老人クラブの減少や会員の高齢化が進んでいる。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	参加者からは、健康や教養の向上、または介護予防の面からも役立つと大変好評である。

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の健康増進や教養の向上は、高齢者の生きがいづくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の健康や生きがいづくり対策は公共の事業であり、市が行うのは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内の老人クラブ会員を対象にしており適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 研修の内容については、参加者の88.7%が満足し、普通が10.6%、やや不満は0.7%である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 高齢者の健康や教養の向上、レクリエーションの場が減ってしまい、高齢者の生きがい対策等に影響が大きい。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 根本山老人憩いの家
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 老人憩いの家は楽しみの場として、老人研修センターは研修の場として実施しているため、統合はできない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 講師謝金等の必要最小限の経費で行っている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で行っている。現行以下のサービスでは活動が困難になる。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内全域の高齢者を広く対象とし、また昼食も実費負担であり、公正・公平である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合  <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果  <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> <td>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> <td>④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性  <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的絞込み</td> <td><input type="checkbox"/> 目的拡充</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合</td> <td><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 予算削減</td> <td><input type="checkbox"/> 予算増大</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"><input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的絞込み	<input type="checkbox"/> 目的拡充	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善			<input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 予算増大			<input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）											
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的絞込み	<input type="checkbox"/> 目的拡充																					
<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善																							
<input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 予算増大																							
<input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								